



第8号 (2013年) 平成25年3月 発行・編集/改革・新風 長野県庁県議会棟内(026)232-0087 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK http://www.kaikaku-shinpuu.com

# 二月定例県議会 25年度予算を可決

2月20日に開会した定例県議会は、本会議で議案の採決を行い、8322億円の平成25年度当初予算と平成24年度2月補正予算を原案通り可決しました。平成25年度は長野県総合5か年計画の初年度として「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向け、平成24年度2月補正予算と一体的に編成し、県内経済の下支えと雇用の創出を図る内容となっています。

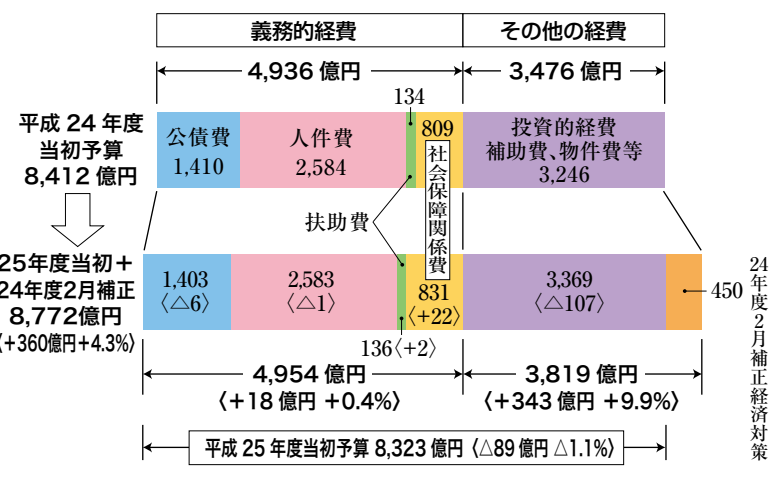


一般質問に先立ち、各会派の代表質問が行われ、今回、改革・新風は竹内久幸幹事長が質問に立ちました。  
**【竹内議員】** 自公への政権交代を受け、どのようなスタンスで県政を運営するのか。  
**【阿部知事】** 県民から負託を受けて知事に就任し、

## 平成25年度当初予算の姿

経済・雇用対策に切れ目なく対応するため、国の「15か月予算」に対応して平成24年度2月補正予算と25年度当初予算を一体的に編成した結果、24年度当初予算と比べ360億円の増となっています。また、社会保障関係費の増により義務的経費が増加し政策的経費を圧迫していることから、事業の見直しにより財源を確保しています。

平成25年度当初予算額	8322億5452万5千円
平成24年度2月補正予算額 (経済対策分)	449億9120万8千円
合計	8772億4573万3千円



### 再生可能エネルギー 発電普及状況視察

再生可能エネルギー固定価格買取制度の創設により注目されている太陽光発電をはじめ、本県の地形や豊かな水資源を活かした水力発電の普及状況を南信地域で視察しました。

まず、伊那市孤島の県企業局南信発電管理所で高遠ダムに新設される発電所の建設計画について説明を受け、この後下伊那郡松川町で計画されている小水力発電事業を視察しました。

深津徹町長から松川町では町の主要な施策として再生可能エネルギー普及に取り組んでいることや、小水力発電は水利権の調整が課題になることをお聞きしました。また、



### 町内で新設された太陽 光エネルギー発電所と 建設現場を視察しまし た。2012年から 「一村一自然エネルギ ープロジェクト」が始 まりました。県内の自 然エネルギー普及の参 考としていきます。

町内で新設された太陽光エネルギー発電所と建設現場を視察しました。2012年から「一村一自然エネルギープロジェクト」が始まりました。県内の自然エネルギー普及の参考としていきます。



町内では地域の課題について多くの質問や要望、意見が出されました。参加者から「リニアや三遠南信道など夢のある話ばかり先行するが、身近な道路整備についても要望したい」という意見が出されました。県議側からは「飯田下伊那の県道改良率は県平均より10%以上遅れている。引き続き、前倒しでやっていくよう働きかけていく」と答えました。その他、防災、公共交通、教育など多岐にわたる質疑が行われました。対話集会終了後、参加者からは「とても良い取り組み、また開いてほしい」との声がありました。対話集会は昨年秋に千曲市で開き、24年度は高森町で2回目の開催でした。

に、契約の内容に応じて実施すべき具体的施策を展開していく。  
 今後は労働団体や経営団体との意見交換を重ねながら、条例化も視野に入れて、更に検討を進める所存。  
**【竹内議員】** 「障害者差別禁止条例」の制定にあたり、どのように取り組んでいくのか。  
**【阿部知事】** 障害のある人もない人も「共に生きる社会」を構築していくには障害を理由とした差別を始めとする様々な社会的障壁をなくしていくことが重要。  
 障害のある人の権利擁護の観点から、法的な位置づけが必要であり、条例制定は有効な手段と認識している。  
**【竹内議員】** 信州教育の再生について、懲戒処分等の変更も含め、不祥事の再発防止対策を今後どのように取り組んでいくのか。  
**【阿部知事】** 県内私立大学など関係者と意見交換

### 県政対話集会

去る1月24日、高森町福祉センターにおいて県政対話集会を開催しました。飯田下伊那地域全域から約100人が参加しました。

最初に下伊那郡区選出の吉川彰一県議があいさつ。次いで当会派の県議13名から自己紹介を行い、その後、対話形式で進められ、参加者からは地域の課題について多くの質問や要望、意見が出されました。

参加者から「リニアや三遠南信道など夢のある話ばかり先行するが、身近な道路整備についても要望したい」という意見が出されました。県議側からは「飯田下伊那の県道改良率は県平均より10%以上遅れている。引き続き、前倒しでやっていくよう働きかけていく」と答えました。その他、防災、公共交通、教育など多岐にわたる質疑が行われました。対話集会終了後、参加者からは「とても良い取り組み、また開いてほしい」との声がありました。対話集会は昨年秋に千曲市で開き、24年度は高森町で2回目の開催でした。

